

学友会の進むべき道

河原 碧子

大阪市立大学後援会副理事長

大学が百二十五年を超えた今、同窓会の規模拡大と歴史の深さを示す一環として、学友会は実質大同窓会に発展設立されました。

同窓会組織の区分を超えて、大阪市立大学の文化や経済、科学の分野に於ける精鋭として二十一世紀の国際社会に大きな影響を与え、大阪圏の発展に大きく貢献していくということが基本理念だと思います。会員全体の理解と協力によって後進への応援は勿論、

「豊かな人生の懇親の場」としてもその意義を深めていきたいと思えます。学生や教職員が日々築き上げている学問的業績と、私たち同窓生一人一人も母校で培った見識を礎とした

「日々の行いが重厚な歴史の歩みとなる生き方」を示すことで、この設立を心から祝福できるのだと思います。

これからの大阪の大学にとって必要なことは「人材」の育成は勿論、文化、教養、人間としての節度をわきまえ 自分自身を冷静に

見つめながら生きていくことの出来る「人物」の育成だと思えます。

現在は、大学内の多くの優れた研究者や学生の活動を

一層世に広めるべく、若い時に思い描いた志や理想の実現のために努力したいと思っています。